



# 輝き人生

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介します。

## こだわりながらも エンジョイ農業ライフ！

おおの 大野 哲郎さん (椿世町)



大野さんが生産しているトマト。グリーンゼブラ(一番左)やブルートマト(一番右)など、珍しい品種も栽培しています。

農業従事者の高齢化や減少が進むなか、生涯の仕事として農業の道を進む大野哲郎さん。高校を卒業後、野菜を生産する専業農家になり、今年で10年目を迎えた28歳の青年。スティックブロッコリー、とうがらし、なばな、白ネギ、なす、カブなどを主に、約130品種の野菜を生産しています。休みの少ない仕事とのことですが、『楽しいことだから』と笑顔を見せながら、今日も畑で農作業に従事しています。

### 一農業を始めたきっかけは？

「千葉県に住んでいた幼い頃から市民農園などで母と野菜栽培をしていて、農業に触れ合う機会が多かったです。高校も農業高校へ進学し、進路を考えたときに、興味のあることを仕事にしたいと思

い、母の実家である亀山市に移り住み、農業を始めました。」

### 一こだわりは？

「モットーは『いろいろおやさい』で、少量多品種の生産に取り組んでいます。親しみのある野菜のほか、少し変わった品種も生産しています。こんな野菜もあるんだってことを知ってもらいたいし、その食感、彩り、香りなども楽しんでもらえたらと思います。また、栽培方法のこだわりとして、頑固な粘土質の壁土をベースに、肥料は亀山の堆肥や鳥羽のカキ殻石灰、水は鈴鹿山脈の地下水を使用した『三重の恵み 壁土農法』を実践しています。」

### 一うれしいことは？

「お客さんに喜んでもらった時

がやはり一番です。また、試行錯誤して、栽培や収穫が上手にできた時などは、とても楽しい気分になりますね。」

### 一苦労することは？

「天候に大きく左右される仕事で、今年の台風では、苗木が強風で折れたりして、収穫できなかった野菜がありました。また、サルなどの獣害に悩まされることも。」

### 一これからは？

「もっと勉強して、味を向上させたいです。また、新鮮な野菜を地域でもっと消費してもらえたらと考えます。畑での直接販売や、リヤカーを引いて直売できたらと思います。そして、色んな野菜を農家でしか味わえない鮮度でお届けできたら嬉しいですね。」

## 図書館の本棚から 市立図書館 (☎82-0542)



### 『午前0時のラジオ局』 村山仁志／著 PHP 研究所 (2014年7月刊)

地方局の新米アナウンサー鴨川優は、テレビからラジオに異動となり、妙に陽気なディレクターと、午前0時に始まる新番組を担当することになり…。ラジオ局の人々を、現役アナウンサーでもある作者が描く、心温まるファンタジー物語。



### 『コンビニたそがれ堂セレクション』 村山早紀／著 ポプラ社 (2015年3月刊)

風早の街にあるという、不思議なコンビニたそがれ堂。そこにはこの世に売っているものなら何でもあるという。そして、売っていないものも…。大事な探しものある人ならたどり着ける、あたたかいお店によるこそ！

### ～新着だより～

#### 小説

- 2.43 / 壁井ユカコ
- 文学の空気のあるところ / 荒川洋司
- 菜飯屋春秋 / 魚住陽子
- 君の隣に / 本多孝好
- まだなにかある(上・下) / パトリック・ネス

#### 児童

- ライフタイム / ローラ・M・シェーファー
- きょうはだいじゅうたい / 哲也
- 美雨13歳のしあわせレシピ / しめのゆき
- 幽霊魚 / 福田隆浩
- あやとり大百科 / なつかしあそびの会

#### その他

- 衣にちにち / 群ようこ
- 鼻のせいかもしれません / 黄川田徹
- カレーが食べたくなったら / 坂田阿希子
- 女子の山登り入門 / 小林千穂
- 東海美仏散歩 ほか516冊